

※本情報は2016年1月時点の情報です。
 その後の情報は反映されていないので、ご注意ください。

フォード・フェスティバ (H5/1~H8/8)

〈本体商品の取付情報〉

年 式	型 式	車 種	最大取付数		本 体 の 取 付 方 法						オプション	
			ト レ ード イ ン	ア ド オ ン	キ ット レ ス	取付キット使用			備 考	1D		2D
						型 番	主な付属品	希望小売価格 (税別)		46 サイズ		46 サイズ
H5/1~H8/8	E-D25BF E-D23BF E-D25PF E-D23PF	全車種	2D		×	KK-T39D [Ⓚ]		8,500円	注2,4	◎ 注1	◎ 注1	P
			2D		×	KJ-T50D ^㉔		7,500円	注3,4,7	◎	◎	
			1D		×	KK-T38D [Ⓚ]		7,500円	注2,5	◎	×	
				1D	×	KK-T38D [Ⓚ]		7,500円	注2,5	◎	×	
			1D		×	KJ-T10D ^㉔		5,500円	注3,5	◎	×	
				1D	×	KJ-T11D ^㉔		3,500円	注3,5	◎	×	

- (注1) 1Dサイズのおペレーションフラップ機構付の商品を取付ける場合は、キットに付属のパネル窓口の上または下がフラップ開閉時に少し当たりますので、パネル窓口を削る必要があります。
- (注2) KK-T39D[Ⓚ]、KK-T38D[Ⓚ]には、配線コネクタ、純正ラジオ取外し専用工具が同梱されています。KK-T38D[Ⓚ]はDサイズ1機種取付用のキットですので、1D+1Dの取付けをする場合は、KK-T39D[Ⓚ]を使用するかまたは、KK-T38D[Ⓚ]を2セット使用します。
- (注3) KJ-T50D^㉔、KJ-T10D^㉔には、配線コネクタ、純正ラジオ取外し専用工具が同梱されています。KJ-T10D^㉔はDサイズ1機種取付用のキットですので、1D+1Dの取付けをする場合は、KJ-T50D^㉔を使用するかまたは、KJ-T10D^㉔とKJ-T11D^㉔を各1セット使用します。
- (注4) アドオン取付けは不可で、車両側取付部（上スペースと下スペースの仕切り部分）の切取加工が必要。
- (注5) 車両側挿入口の角Rを削って直角にしてブラケットを挿入します。
- (注6) KJ-T50D^㉔には、「標準取付（通常取付）」化粧パネルに加え、「14mm前出し取付」化粧パネルが付属されています。
- (注7) KJ-T50D^㉔は、「標準取付（通常取付）」に加え、「14mm前出し取付」にも対応したキットで、取付けるカーステレオの配線・端子等が車両側に当たる場合は、14mm前に出して、付属の「14mm前出し取付化粧パネル」を使用し、（パネル加工せずに）取付けることが可能です。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに 化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源（ACC、常時、イルミネーション）			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… フォード車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
24	マツダ車用配線キット KJ-T24P ^㉔ が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。24は24P車用でKJ-T24P ^㉔ （2,500円、税別）の適応車種です。
12	マツダ車用配線キット KT-12P [Ⓚ] が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。12は12P車用でKT-12P [Ⓚ] （2,500円、税別）の適応車種です。 特に、オートアンテナ装備車の場合にKT-12P [Ⓚ] を使用する場合には、オートアンテナ電源用リレーが付属されていますので大変便利です（車種によっては電源リレーを使用しないとオートアンテナが動作しません）。
	FMダイバーシティ アンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コードRD-AN33（2,000円、税別）を使用します。
P	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27V II [Ⓚ] （12,000円、税別）がシート取付ボルト部に取付可能です（車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27V II [Ⓚ] 付属のロッドが使用できない場合もあります）。 （注）… KW-27V II [Ⓚ] は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方および、基礎知識や用語解説などをご確認ください。

※本情報は2016年1月時点の情報です。
 その後の情報は反映されていませんので、ご注意ください。

フォード・フェスティバ (H5/1～H8/8)

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット							注記 B	ボックスタイプ				ユニットタイプ				サテライト		
			TS-J6910A	TS-C1620AⅡ J1610A F1630S F1630	TS-C1020A J1010A	TS-F1030S F1030						TS-X480G X380	TS-X180	TS-E1796	TS-E1676	TS-E1396	TS-E1076	TS-G1030	TS-STH1100	TS-STH700	TS-STX510
3ドア	Fドア		◎②④	×	×									×	×	◎③	◎③				
	Rシェルフ								⑤	◎①	◎	○									

注記
 ① 中心寄りになる（スピーカーによっては、左右スピーカーがぼぼ付いた状態になる）。
 ② 取付ネジ穴位置が端寄りになるため、付属の平座金を使用して取付ける。
 ③ マニュアルウインドー車のドアポケットなし車のみで可、純正位置より少し後方の鉄板穴位置に取付ける。ドア内のハーネスに少し当たる。
 ④ 純正スピーカー付車の場合に可。TS-J1610A、TS-F1630は、トゥイーターがドアトリムのグリル部に少し当たる。
 ⑤ 純正オーディオボード付車を除く。空気清浄器付車の場合は取付不可。

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可（スピーカーに付属のコネクター使用）	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）	☒	取付可（別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
回	取付可（別売の「インナーバッフル」使用）	☒	取付可（別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
◎	取付可（配線加工が必要）	×	取付不可
◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）	空欄	非適合または、未調査で取付可否不明

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	△	取付可（別売の「スパーサー」使用）
●	取付可（鉄板加工が必要）	▲	取付可（別売の「スパーサー」使用で、鉄板加工が必要）
○	取付可（スピーカーに付属のスパーサー使用）	□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）
●	取付可（スピーカーに付属のスパーサー使用で、鉄板加工が必要）	×	取付不可
		空欄	非適合または、未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		×	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合または、未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方および、基礎知識や用語解説などをご確認ください。